

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	神戸国際大学
設置者名	学校法人 八代学院

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
経済	経済経営	夜・通信		34 (24)	10	44	13	
	国際文化ビジネス・観光	夜・通信		20 (10)	24	44	13	
リハビリテーション	理学療法	夜・通信			30	30	13	
		夜・通信						
(備考) 学部等共通科目の()内は、他学科科目の履修可能な単位数であり内数です。								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.kobe-kiu.ac.jp/wp-content/themes/kiu/pdf/workexperience_teacher.pdf

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

- ※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	神戸国際大学
設置者名	学校法人 八代学院

1. 理事（役員）名簿の公表方法

https://www.kobe-kiu.ac.jp/wp-content/themes/kiu/pdf/the_board_of_trustees.pdf

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	日本聖公会 神戸教区主 教	2020.4.1～ 2022.3.31	キリスト教教育担 当（建学の理念継 承）
非常勤	（有）サンスリービル代 表取締役	2020.4.5～ 2022.4.4	学院経営担当
非常勤	リンク総合法律事務所所 属弁護士	2020.4.5～ 2022.4.4	コンプライアンス 担当
（備考）			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	神戸国際大学
設置者名	学校法人 八代学院

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>シラバスの作成方法に関するFDを専任教員・非常勤講師を対象に実施している。その際、ガイドライン(シラバスの作成方法)により「授業概要」「到達目標」「授業計画」「事前事後学修」「成績評価方法・基準」「受講心得」の説明を行っている。</p> <p>欠席者には、ガイドライン(シラバスの作成方法)を送付している。</p> <p>また、実務経験を持つ担当教員には実務経験の有無について、「どのような実務経験によりどのような教育を行うか」を明記するよう説明している。</p> <p>また、シラバスは3月末に完成し、4月1日に大学ホームページにより公表している。</p>	
授業計画書の公表方法	https://www.kobe-kiu.ac.jp/about/information/subject/
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

本学の学士課程における単位認定にあたっては、各学部の学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）を踏まえた当該授業科目の位置づけとして相応しい到達目標を設定し、これに照らして学生の学修到達度を評価している。

評価については、授業科目の担当教員があらかじめ設定した試験、レポートなどの成果物や、受講態度、授業への貢献度などに拠って行っている。担当教員は、授業の内容および形態を考慮したうえで、学生の履修に際して学修到達度を適切に評価するために相応しい評価方法・基準を年度のはじめにシラバスで学生に明示し、その内容に基づいて厳格な成績評価を実施し単位を授与している。複数で担当する必修科目については、担当者間で協議し、評価が偏らないように配慮している。

また、成績発表後に学生が自身の成績評価に関して担当教員に照会できる制度を設けることで、成績評価の透明性を確保するようにしている。

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

GPA (グレードポイントアベレージ) は、一定期間において履修した各授業科目の成績に係るGPに当該授業科目の単位数を乗じて得た数値の総和を履修した各授業科目の単位数の総和で除して得た数値をいう。ただし、小数点第3位以下は切り捨てるものとする。

授業科目の成績評価基準は、100～90点を「S」、89～80点を「A」、79～70点を「B」、69～60点を「C」、59点以下を「D」(不合格)とする5段階評価とし、単位認定のために学生が達成すべき水準を60点以上としている。また、未受験の場合は「F」の無評価とする。

また、学生の成績の相対的な位置を確認するために、学部ごとに学生の成績の分布状況を把握し、その資料を作成している。

客観的な指標の
算出方法の公表方法

https://www.kobe-kiu.ac.jp/about/information/gpa_credit_degree/

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

各学部の教育目標を踏まえ、以下の知識や能力・技能を備え、各学部が定める卒業要件を満たした者に対し、学士の学位を授与する。

○経済学部（経済経営学科）

(1)教養

コミュニケーションスキル、一般的ビジネススキル、情報リテラシーなどの汎用的技術や教養を身につけている。

(2)専門知識・技能

経済学をはじめとする専門的知識と理論を身につけている。

(3)思考力・判断力・行動力

外国人とのコミュニケーションを通じ、異文化を理解し行動することができる。

(4)主体的な態度

意見の違いや立場の違いを理解し、多様な人々とともに目標に向けてチームワークを発揮し、自ら問題を解決することができる。

○経済学部（国際文化ビジネス・観光学科）

(1)教養

コミュニケーションスキル、一般的ビジネススキル、情報リテラシーなどの汎用的技術や教養を身につけている。

(2)専門知識・技能

国際文化ビジネスや観光学をはじめとする専門的知識と理論を身につけている。

(3)思考力・判断力・行動力

外国人とのコミュニケーションを通じ、異文化を理解し行動することができる。

(4)主体的な態度

意見の違いや立場の違いを理解し、多様な人々とともに目標に向けてチームワークを発揮し、自ら問題を解決することができる。

○リハビリテーション学部（理学療法学科）

(1)教養

豊かな人間性と倫理観、ホスピタリティマインドを持っている。

(2)専門知識・技能

理学療法士としての知識および評価・治療の技術を修得している。

(3)思考力・判断力・行動力

専門職業人としてのコミュニケーション能力を持ち、多職種との協働によるチーム医療を理解し、医療従事者として適切な接遇をすることができる。

(4)主体的な態度

医療の進歩に対応できるリハビリテーション技術や知識を修得するたゆまない探究心を持っている。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

https://www.kobe-kiu.ac.jp/about/information/diploma_policy/

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	神戸国際大学
設置者名	学校法人 八代学院

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.kobe-kiu.ac.jp/wp-content/themes/kiu/pdf/a-34_2020taisyakutaisyo.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://www.kobe-kiu.ac.jp/wp-content/themes/kiu/pdf/a-34_2020sikinskyusi.pdf
財産目録	https://www.kobe-kiu.ac.jp/wp-content/themes/kiu/pdf/a-34_2020zaimumokuroku.pdf
事業報告書	https://www.kobe-kiu.ac.jp/wp-content/themes/kiu/pdf/a-34_2020jigyohoukoku.pdf
監事による監査報告(書)	https://www.kobe-kiu.ac.jp/wp-content/themes/kiu/pdf/a-34_2020kansahoukoku.pdf

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法：https://www.kobe-kiu.ac.jp/wp-content/themes/kiu/pdf/a-39_2015jikohyoka.pdf

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法：
https://www.kobe-kiu.ac.jp/wp-content/themes/kiu/pdf/a-39_2015daigakukikanbetuninsyohyoka.pdf

(3) 学校教育法施行規則第172条の2第1項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名
教育研究上の目的 (公表方法： https://www.kobe-kiu.ac.jp/about/educational_policy/)
(概要) 経済学部は、建学の精神に基づき、物中心から人間中心へと主軸を移した経済学を学問的基盤に据え、経済学の理論と実践力を備え、グローバルな視野と豊かな教養、人間性を持った有能な人材を育成することとする。 ○経済経営学科 経済経営学科の目的は、経済学・経営学に関する知識を修得し、現代の複雑な経済社会においてグローバルな視点を持って活躍できる人材を育成することとする。 ○国際文化ビジネス・観光学科 国際文化ビジネス・観光学科の目的は、国や地域の文化と結合したより良き人間生活を実現するビジネスについて学び、グローバルな視点を持って現代社会の発展に貢献できる人材を育成することとする。
卒業の認定に関する方針 (公表方法： https://www.kobe-kiu.ac.jp/about/information/diploma_policy/)

(概要)

○経済経営学科

(1)教養

コミュニケーションスキル、一般的ビジネススキル、情報リテラシーなどの汎用的技術や教養を身につけている。

(2)専門知識・技能

経済学をはじめとする専門的知識と理論を身につけている。

(3)思考力・判断力・行動力

外国人とのコミュニケーションを通じ、異文化を理解し行動することができる。

(4)主体的な態度

意見の違いや立場の違いを理解し、多様な人々とともに目標に向けてチームワークを発揮し、自ら問題を解決することができる。

○国際文化ビジネス・観光学科

(1)教養

コミュニケーションスキル、一般的ビジネススキル、情報リテラシーなどの汎用的技術や教養を身につけている。

(2)専門知識・技能

国際文化ビジネスや観光学をはじめとする専門的知識と理論を身につけている。

(3)思考力・判断力・行動力

外国人とのコミュニケーションを通じ、異文化を理解し行動することができる。

(4)主体的な態度

意見の違いや立場の違いを理解し、多様な人々とともに目標に向けてチームワークを発揮し、自ら問題を解決することができる。

教育課程の編成及び実施に関する方針

(公表方法：https://www.kobe-kiu.ac.jp/about/information/curriculum_policy/)

(概要)

本学部では、ディプロマ・ポリシーに掲げる知識・技能などを修得するために、学部共通科目、各学科に基礎・基幹・応用科目を設置します。これらの学びから広い教養・専門的知識を修得し、将来の経済活動において、他者との共感・協働力、社会全体の問題を考えることができる市民力、社会的問題を解決に向けて柔軟に考える批判的思考力、神戸の地から地球規模的に物事を考えて行動することができるグローバル力をもった市民・職業人を育成します。また学んだ知識を活かした資格を取得することを支援しています。

○経済経営学科

1 教育内容

- (1)経済学基礎・基幹科目では、社会における経済活動の仕組みを学ぶことができるよう、マクロ経済学、ミクロ経済学などの経済学理論を基礎として、経済学の主要な分野について広く学びます。
- (2)経済学応用科目では、さまざまな領域の経済制度や経済政策などを学び、経済活動を通じて社会に貢献するための抽象的思考、論理的思考、数学的スキル、情報収集能力など、経済学を通じてグローバル社会に通用する能力を身につけます。
- (3)経営学基礎・基幹科目では、企業における組織活動の企画・運営の仕組みを学ぶことができるよう、経営学の理論を基礎として、経営学の主要な分野について広く学びます。
- (4)経営学応用科目では、企業の企画・運営におけるさまざまな問題の構造を学び、事業体の経営に関する実践的な知識やグローバルに行動できる実践的行動力など、経営学を通じてグローバル社会に通用する能力を身につけます。

2 教育方法

- (1)本学の設置目的である「基督教主義に則り国際人として役立つ有為な人材の育成をはかる」ことができるよう、すべての授業にグローバルな視点を取り入れます。
- (2)少人数科目では、アクティブ・ラーニングを中心にした教育方法を用い、知識の習得とともに、コミュニケーション能力の向上、他者とのかかわりから生まれる共感力などを養成します。
- (3)学んだ知識にかかわる資格を取得できるよう支援します。

○国際文化ビジネス・観光学科

1 教育内容

- (1)国際文化ビジネス基礎・基幹科目では、ファッション・ビジネス、生活デザイン、国際コミュニケーション・エアラインの分野の基礎知識を広く学びます。
- (2)国際文化ビジネス応用科目では、ファッションやデザインにかかわるビジネス、国際コミュニケーション・エアラインにかかわるビジネスに従事することができるよう、心理学、マーケティング、地域研究、環境学、語学など学際的に幅広い分野の知識から、人と人との関係の分析や人間の活動の持つ文化的な背景などを学び、創造性をもってグローバルに活躍できる人材を育成します。
- (3)観光基礎・基幹科目では、観光プロデュース、ホテル・ブライダル・セレモニーの分野の基礎知識を広く学びます。
- (4)観光応用科目では、旅行産業、地域振興、イベント、ホテル・ブライダル・セレモニーなどあらゆる観光業界の分野で活躍することができる実践的な知識を身につけ、ホスピタリティマインドにあふれたグローバルに活躍できる人材を育成します。

2 教育方法

- (1)本学の設置目的である「基督教主義に則り国際人として役立つ有為な人材の育成をはかる」ことができるよう、すべての授業にグローバルな視点を取り入れます。
- (2)少人数科目では、アクティブ・ラーニングを中心にした教育方法を用い、知識の習得とともに、コミュニケーション能力の向上、他者とのかかわりから生まれる共感力などを養成します。
- (3)学んだ知識にかかわる資格を取得できるよう支援します。

入学者の受入れに関する方針

(公表方法：https://www.kobe-kiu.ac.jp/about/information/admission_policy/)

(概要)

本学部ディプロマ・ポリシーに掲げる教育目的に基づき、物中心から人間中心へと主軸を移した経済学を学問的基盤に据え、経済学の理論と実践力を備え、グローバルな視野と豊かな教養、人間性を持った有能な人材を育成するために以下のような学生の入学を望みます。

- (1)経済のみならず日本や世界の社会問題に関心を持っている。
- (2)国、地域を問わず価値観の異なる人々と主体性をもって協働して学び、取り組める。
- (3)グローバル社会で活躍するために必須である外国語や経済専門知識をもって、社会貢献する意思を持っている。

学部等名	リハビリテーション学部
教育研究上の目的	(https://www.kobe-kiu.ac.jp/about/educational_policy/)
(概要)	リハビリテーション学部理学療法学科の目的は、建学の精神に基づき、リハビリテーション医療の原点である「全人的復権」の基に「人間の保健・福祉」を追求する学問的基盤に立って、特にリハビリテーションの中核的担い手である、高い専門的知識と技術、及び豊かな教養と人間性を持つ有能な理学療法士を養成することとする。
卒業の認定に関する方針	(https://www.kobe-kiu.ac.jp/about/information/diploma_policy/)
(概要)	本学部の教育目標を踏まえ、以下の知識や能力・技能を備え、本学部が定める卒業要件を満たした者に対し、学士の学位を授与する。
○理学療法学科	
(1)教養	豊かな人間性と倫理観、ホスピタリティマインドを持っている。
(2)専門知識・技能	理学療法士としての知識および評価・治療の技術を修得している。
(3)思考力・判断力・行動力	専門職業人としてのコミュニケーション能力を持ち、多職種との協働によるチーム医療を理解し、医療従事者として適切な接遇をすることができる。
(4)主体的な態度	医療の進歩に対応できるリハビリテーション技術や知識を修得するたゆまない探究心を持っている。
教育課程の編成及び実施に関する方針	(https://www.kobe-kiu.ac.jp/about/information/curriculum_policy/)

(概要)

本学部では、ディプロマ・ポリシーに掲げる知識・技能などを修得させるために、教養科目・専門基礎科目・専門科目を設置し、社会人としての一般教養ならびに科学的根拠に基づいた専門的知識・技術及びホスピタリティマインドをもつ医療専門職業人を育成します。また学んだ知識を活かした資格を取得することを支援しています。

1 教育内容

- (1)教養科目では豊かな教養と人間性を持つ有能な理学療法士を養成するために、人文・社会・自然科学分野にわたる幅広い教養や技能を学びます。建学の精神に基づく宗教教育をはじめとする人間形成と文化、そして国際化対応を視野に入れたことばと国際文化の二分野を選択科目とし、主に初年次に修得します。
- (2)知識や技術を修得するための基盤となる専門基礎科目では、人体の構造と機能及び心身の発達、疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進、保健医療福祉とリハビリテーションの理念を学びます。
- (3)医療人として専門性を高める専門科目では、基礎理学療法学、理学療法評価学、理学療法治療学、地域理学療法学などを体系的に学び、医療の進歩に対応できるリハビリテーション技術や知識を探究する医療専門職業人としての自立を目指します。

2 教育方法

- (1)少人数学生間でのグループワークを積極的に取り入れ、専門的な学修指導とともに生活・進路に関する助言を行います。アクティブ・ラーニングを中心とした教育方法を用い、知識の修得とともにコミュニケーション能力の向上、他者とのかわりから生まれる共感力などを養成します。
- (2)入学時より、接遇マナー講座・白衣推戴式・防災意識を高める競技会等を行い専門職としての社会性を高め、また、解剖学、生理学などについては習熟度に応じた指導をします。
- (3)臨床実習ではⅠ→Ⅱ→Ⅲ→Ⅳの順序で学修する必要があり、臨床実習指導者を招いた会議にて学部と病院・施設との話し合いを行い、実習では現場における指導者の助言を受けながら専門的知識・技術を高めます。実習前には実技試験・筆記試験、実習後には報告会など学修を発展的に繰り返します。
- (4)理学療法士国家試験の合格に向け、模擬試験などから専門的知識の能力を確認し、4年次後期には対策プログラムを実施します。

入学者の受入れに関する方針

(https://www.kobe-kiu.ac.jp/about/information/admission_policy/)

(概要)

本学部ディプロマ・ポリシーに掲げる教育目的に基づき、医学・療養の原点である「全人的復権」の基に「人間の保健・福祉」を追求する学問的基盤に立って、リハビリテーションの中核的な担い手となる高い専門的知識と技術および、豊かな教養を修得しようとする高い意識と人間性を持つ有能な人材を育成するために以下に掲げる要件を備えた人を歓迎します。

- (1)リハビリテーションを通して人の役に立ちたいという大きな自覚を持ち、人に対する思いやりや愛情を適切に表現できる。
- (2)高い目的意識と学問への探究心を持ち、理学療法士としての専門的知識と技術の修得に積極的に取り組める。
- (3)将来、地域のリーダーとして活動し社会に貢献する意思を持ち、また、国際的な舞台で活躍する意欲を持つ。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：

<https://www.kobe-kiu.ac.jp/about/information/introduction/>

https://www.kobe-kiu.ac.jp/about/information/organization_faculty/

https://www.kobe-kiu.ac.jp/about/information/organization_office/

https://www.kobe-kiu.ac.jp/about/information/organization_yashiro/

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a.教員数（本務者）

学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	3人	—					3人
経済学部	—	20人	9人	6人	0人	0人	35人
リハビリテーション学部	—	7人	4人	5人	2人	0人	18人

b.教員数（兼務者）

学長・副学長	学長・副学長以外の教員	計
0人	105人	105人

各教員の有する学位及び業績
(教員データベース等)

公表方法

<https://www.kobe-kiu.ac.jp/faculty/economics/teacher/>

<https://www.kobe-kiu.ac.jp/faculty/rehabilitation/teacher/>

c.F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）

大学の建学の精神・役割を実現するため、教員の質的向上・資質改善を目的として以下のFDを実施している。

1) FD研修会を毎年度3~4回実施している。

対象は専任教職員。

各研修のテーマ：学生教育指導、大学ガバナンス、高等教育における質保証、高大連携等

講師は、外部講師（文部科学省高等教育局、他大学教員等）、または学内の教職員。

高大連携をテーマとする研修の際は、附属高校の教諭も参加する。

2) 研究不正防止にかかる研修会を毎年度1回実施している。

対象は専任教員。

テーマは、研究論文不正防止、研究倫理・社会的責任の周知

講師は、担当副学長。

3) 学生アンケートに基づく教員表彰を毎年度1回実施している。

対象は専任教員。

学生アンケートの高得点を得た授業（担当者）を抽出し、公開授業を行い、審査を経て

教員表彰を行う。

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a.入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a %	収容定員 (c)	在学学生数 (d)	d/c %	編入学 定員	編入学 者数
	300人	363人	121%	1200人	1514人	126%	一人	16人
	80人	90人	113%	320人	335人	105%	一人	0人
合計	380人	467人	119%	1520人	1849人	122%	一人	16人
(備考)								

b.卒業生数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他

経済学部	342人 (100%)	11人 (3.2 %)	186人 (54.4 %)	145人 (42.4 %)
リハビリテーション学部	51人 (100%)	0人 (0%)	36人 (70.6 %)	15人 (29.4 %)
合計	393人 (100%)	11人 (2.7 %)	222人 (56.5 %)	160人 (46.0%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項) https://www.kobe-kui.ac.jp/career/economics_support/employment/ https://www.kobe-kui.ac.jp/career/rehabilitation_support/employment/				
(備考)				

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <p>シラバスの作成方法に関するFDを専任教員・非常勤講師を対象に実施している。その際、ガイドライン(シラバスの作成方法)により「授業概要」「到達目標」「授業計画」「事前事後学修」「成績評価方法・基準」「受講心得」の説明を行っている。また、担当教員における実務経験の有無について、「どのような実務経験によりどのような教育を行うか」を明記するよう説明している。</p> <p>また、シラバスは3月末に完成し、4月1日に大学ホームページにより公表されている</p>
--

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>(概要)</p> <p>本学の学士課程における単位認定にあたっては、各学部の学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)および教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)を踏まえた当該授業科目の位置づけとして相応しい到達目標を設定し、これに照らして学生の学修到達度を評価している。</p> <p>評価については、授業科目の担当教員が試験、レポートなどの成果物や、受講態度、授業への貢献度などに拠って行っている。担当教員は、授業の内容および形態を考慮したうえで、学修到達度を適切に評価するために相応しい評価方法・基準を年度のはじめにシラバスで学生に明示し、その内容に基づいて厳格な成績評価を実施している。複数で担当する必修科目については、担当者間で協議し、評価が偏らないように配慮されている。</p> <p>また、成績発表後に学生が自身の成績評価に関して担当教員に照会できる制度を設けることで、成績評価の透明性を確保するようにしている。</p>				
学部名	学科名	卒業に必要な単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)

経済	経済経営	124単位	有・無	48単位
	国際文化 ビジネス・観光	124単位	有・無	48単位
リハビリテーション	理学療法	128単位	有・無	48単位
		単位	有・無	単位
G P A の活用状況 (任意記載事項)		公表方法 ; https://www.kobe-kiu.ac.jp/about/information/gpa_credit_degree/		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法 ; https://www.kobe-kiu.ac.jp/about/campus/ https://www.kobe-kiu.ac.jp/about/information/access/
--

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
経済	経済経営	770000円	300000円	207000円	施設拡充費、設備維持費等
	国際文化 ビジネス・観光	770000円	300000円	207000円	施設拡充費、設備維持費等
リハビリテーション	理学療法	1440000円	300000円	207000円	施設拡充費、設備維持費等
		円	円	円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a.学生の修学に係る支援に関する取組

<p>(概要)</p> <p>○奨学金制度は、経済的理由により修学が困難な学生に一定の金額を貸与または給付することにより、学費・生活費の負担を軽減し、少しでも学業を継続しやすい環境をつくることを目的としている。奨学金には、大学の奨学金制度をはじめ、各地方公共団体・民間育英団体などがある。いずれの奨学金も、学力、人物、経済状況を考慮し選考する。外国人留学生を対象にした制度も用意している。</p> <p>1. 神戸国際大学奨学金 神戸国際大学の学則第48条に基づき、勉学意欲旺盛かつ成績優秀な学生で就学困難な者に奨学金を支給する。 採用人数は若干名とし、学業成績、保護者の収入状況、面接を審査して採用を決定する。採用は当該年度とし、毎年募集をする。</p> <p>2. 神戸国際大学授業料減免 神戸国際大学の学則第48条に基づき、学生で災害等によって授業料の納付が困難な者に対し、減免をする。 減免を受けようとする者は、減免願に罹災証明書等を申請し、決定された場合は原則として災害発生時の次期授業料から半期・通年の各期納付額の全額又は半額とする。</p>
<p>b.進路選択に係る支援に関する取組</p>
<p>(概要) 4年間一貫したキャリア教育・支援を行うためキャリアセンターにて各種進路選択支援を実施している。 就職ガイダンスや筆記試験対策講座、面接対策講座等、年間を通じた講座の開催のほかインターンシップ参加支援を行っている。 またキャリアカウンセリング(就職・進路相談)においては、3年、4年次のゼミナールごとに担当キャリアカウンセラーを配置し、個別対応の形式により学生一人ひとりに対して細やかなカウンセリング・相談に応じている。各種求人管理や対象学生への求人情報のメール配信、履歴書の添削、面接試験に向けた指導・支援等により内定獲得・進路決定へと導いている。</p>
<p>c.学生の心身の健康等に係る支援に関する取組</p>
<p>(概要)</p> <p>学生の心身の健康維持・増進のために保健センターを設置している。身体の健康については学校医と看護師が、学校保健安全法に基づき健康診断および学内における突然の病気や怪我の応急処置を実施している。また、こころの健康については臨床心理士・公認心理士の資格のあるカウンセラーがカウンセリングを行っている。対話スペースも設置し、気楽に利用できるように配慮し、有意義な学生生活を送れるようにあらゆる相談に対応している。 特に、新入生に対しては、アンケート調査を行い、新入生全員を対象に面接をして、早い時期に大学不適応学生を把握して支援するよう取り組んでいる。</p>

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：

<https://www.kobe-kiu.ac.jp/faculty/economics/teacher/>

<https://www.kobe-kiu.ac.jp/faculty/rehabilitation/teacher/>